

平成 26 年 10 月 17 日
岡崎 めかた会館

木づかいガイドライン作成資料について

- 1 木づかいガイドラインの提案者・モニター・場所について
- 2 木づかいガイドラインの原稿依頼について
- 3 木づかい推進・木づかいガイドライン事業のための各市町村連携による予算化について
- 4 スギダラどこでもシリーズの製作内容について
- 5 スギダラ矢作川流域支部の発足及びコンセプトについて
- 6 スギダラキャラバンについて

木づかいガイドライン作成関連資料

当面の活動

① 木づかいガイドライン作成

市民の視点から「さあ~しよう」の形を基本形とし、市民がアクションを起せる木づかいガイドラインを作成する

「さあ~しよう」 (木の魅力と楽しみ=継続に導く)

ブレーストーミングの内容を思い出し、「さあ~しよう」の形で市民を起動させてください。

ヒント

- 自分の感動場面をプレゼントする
- 今の自分ストーリーの原点をプレゼントする
- やっぱりこうでなきゃあーと力強く誘う
- 自分の好きでたまらないこと・面白いことに誘う
- 自分の素晴らしい体験に誘う
- 自分の嗜好・思考に誘う
- これだけは知っていて、絶対体験してと誘う
- 森や川の素晴らしい場所に誘う
- 素晴らしい活動を紹介する
- 楽しい木の工作を語って強く誘う
- 素晴らしい人を紹介する
- 素晴らしい本を紹介する

大原則

- ・人は快樂を求めて動く
- ・人は苦痛から逃れるために動く

ポイント

- ・人は自分独自の必要性のあるものに惹かれる
- ・人は自分独自の必要性あるものと欲しいものが一致した時、強いアクションを起す
- ・商品そのものを売るよりか、それを好きそうな人を集めて色々仕掛けた方が合理的

●森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイルへの誘い 矢作川ディズ

ポイント

- ① さあ~しようの形で「木づかいガイドライン」を考える
- ② さあ~しようの形で現在行われているものを整理する
- ③ 山村に関連する様々な立場の方々の実践を整理する
- ④ ライフステージ別アタック表により取り組みを統一的に見える化する
- ⑤ センスオブワンダー（自然の神秘・不思議等を感じる心）の場면을重視する

② 木づかい推進活動の実践

矢作川流域市民がライフスタイル的に参加し継続できる「矢作川ディズ」な森や木づかいの楽しみ空間や活動を、山部会に参加する私たちがそれぞれの立場を活用して、意図的・戦略的に発掘し、そして創りだし、紹介する

根羽村の木づかい推進活動

・スギダラ活動開始（スギダラ矢作川流域支部設立しました）

日 時 平成 26 年 9 月 19 日(金) 15:00~17:00

場 所 根羽村老人福祉施設「しゃくなげ」

内 容 全国スギダラ倶楽部 若杉浩一さん講演

「ソウルフルな木づかいからビューティフルな森づくり村づくりを」

その後 事例紹介とディスカッション

コーディネイター 山部会副会長 丹羽さん

・信州木材活用モデル地域活動支援事業（2,500 千円）

中房温泉に家族風呂・グリーンハウス森沢に露天風呂と足湯設置

・長野県地域発元気づくり支援金事業（2,800 千円）

木づかい推進バスツアー3 回実施しました

メッセナゴヤ 2014 11 月 5 日~8 日 金城埠頭

木育アイテムの試作 スギダラどこでもシリーズ 「どこでも足湯」完成しました

愛知・岐阜・長野 3 県による木づかい推進シンポジウム→「スギダラ木の感謝祭」

木のある暮らし講座ホームページ開設しました

木のある暮らし講座 開催しました コンセプトの決定

・信州大学農学部・根羽村地域連携協定（総額 1,800 千円）

遊休農地と里山森林の一体的活用に向けた取り組み→根羽村 2 地区をモデル地区

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (市民編案)

区 分		内 容			
さあ~しようのテーマ					
いつ					
どこで (位置図)					
内 容					
対象者					
対応する者					
面白い点 魅力的なところ					
必要な時間					
必要な金額					
準備するもの					
イメージ (映像)					
お薦めポイントは					
参加者からのレビュー					
対象年齢	衝撃度	神秘度	リピーター率	安全性	ステージ表

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市町村編案）

区 分	内 容
さあ~しようのテーマ	
内 容	
対 象 者	
対象者の条件	
魅力的なところ	
必要な時間	
必要な金額	
準備するもの	
イメージ（映像）	
お薦めポイントは	
利用者からのレビュー	
対象年齢	衝撃度
やってよかった度	他県普及性
市民貢献度	

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（業界編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
内 容				
対 象 者				
対象者の条件				
魅力的なところ				
必要な時間				
必要な金額				
必要なメンテナンス				
イメージ（映像）				
お薦めポイントは				
利用者からのレビュー				
対象年齢	衝撃度	やってよかった度	他県普及性	市民貢献度

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (研究者編案)

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
内 容				
対 象 者				
研究の魅力的なところ				
必要な時間				
事 業 費				
イメージ (映像)				
研究のお薦めポイントは				
研究者からのレビュー				
市民貢献度	衝撃度	おすすめ度	他県普及性	発展性

木づかいガイドライン 市民編A (案)

NO	内 容	提案者	モニタ ー	場所
1	弓矢づくりにチャレンジしよう	ネバリン	小学生	根羽
2	自分の好きな木のペンダントを作ってみよう	ネバリン	小学生	根羽
3	自分でマイお箸を作ってみよう	ネバリン	小学生	根羽
4	自分のお家の木の表札づくりチャレンジしてみよう	ネバリン	小学生	根羽
5	自分の好きな板をピカピカに磨いて自分だけの宝物にしてみよう	根羽小	大人	根羽
6	自分で薪を作ってドラム缶風呂を沸かし湯につかろう	ネバリン	小学生	根羽
7	木の葉っぱで部屋の匂いをよくしてみよう	根羽小	小学生	マイルーム
8	木のカルタ取りにチャレンジしよう	ネバリン	小学生	原っぱ
9	自分のマイツリーを見つけて名前をつけよう	丹羽	ファミ	恵那
10	いよいよ自分で森づくりにチャレンジしよう (サクラ山・花の山)	伐採者秀美	新婚	根羽
11	木の幹 (マイツリー) にハンモック (どこでもマイウッドデッキも) を吊るして涼しく昼寝してみよう・山の中のコーヒータイムを楽しもう	丹羽・ハンモック 2000	ファミ	恵那
12	ツリーハウスに遊びに行こう	豊中建設	ファミ	根羽檜原
13	自分だけの露天風呂と足湯を手に入れよう	ネバリン	女子	根羽檜原
14	自分のお風呂に木を浮かべて香りを楽しもう	根羽小	女子	お風呂
15	日本の代表 50 種の樹木を覚えよう (葉の標本づくりにチャレンジ)	豊田森組	大学生	豊田
16	自然の生き物観察場所の看板を立てよう	豊田森組	小学生	豊田
17	日本人なら木のお風呂のある温泉につかろう (中房温泉)	中房温泉 沖・松井	熟年・ 青年 (土 屋・長谷 川)	安曇野
18	チェンソーアートを学ぼう	ネバリン	青年	根羽
19	色々な木のおもちゃづくりや木工工作にチャレンジしよう	ネバリン	父と子	根羽
20	きれいな川で遊ぼう	JTN	小学生	根羽
21	自分だけの滝に道を開けてマイナスイオンを浴びよう	こもれば	女子	根羽
22	木のある公園のウッドデッキで読書しよう (ブックレビューもつくろう)	ネバリン	読書人	安城
23	木と森のある素晴らしい大学に遊びに行こう (信州大学農学部ゆりのき)	信・名大生	高校生	信大・名大
24	筏 (ボート) で川下りにチャレンジしてみよう	筏隊・アル	中学生	岡崎・飯田
25	木のお店案内ブックをつくろう・木のアンテナショップに遊びに行こう	沖・松井	お仲間	流域内
26	スギダラチームの輪を広げて全生活空間をスギダラけにしよう	若杉・ 丹羽・今村	木の人	豊田駅・トヨタ 自・アイシング グループ・安城市
27	夜空を見上げ星と森の声聴こう	星と森の人	小学生	根羽森沢

28	木の科学実験で木を良く知ろう・木を使おう・木を楽しもう 輪っば弁当箱づくりにチャレンジしよう	根羽小・ 花野屋	小学生 ファミ	エコフルタウン 根羽
29	自分達の力で山の木を搬出して地域通貨を手に入れよう	南木	山親父	根羽・豊田
30	自分達の力で豊田から根羽まで縦走路を整備して休憩小屋を建てよう	山岳会・店	豊田隊	根羽・豊田
31	自分で取り組んだ森の健康診断を活用しよう	矢作川研	豊田人	豊田
33	木の小屋においてよ（中村好文さんと連携）	中村好文	開拓者	遊休農地

木づかいガイドライン 県・市町村編B（案）

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	山主森林経営講座に参加して自分の山を管理の仕方を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
2	森林自然観察リーダー入門講座に参加して自然観察の基本を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
3	間伐ボランティア初級講座に参加してチェンソーによる間伐を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
4	山主自力間伐講座に参加してチェンソーを使って自分の山を間伐しよう	豊田森組	豊田人	豊田
5	セミプロ林業作業員養成講座に参加して林業就業者を目指そう	豊田森組	豊田人	豊田
6	森林セミナーに参加して色々な森林を歩きながら森林管理を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
7	矢作川源流の森ウォーキングに参加して源流域の動植物を観察しよう	豊田森組	豊田人	豊田
8	夏休み昆虫観察に参加して森の生き物の生活や不思議さを体験しよう	豊田森組	豊田人	豊田
9	初めての間伐体験に参加して簡単にできる間伐を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
10	森林調査いろいろ学習会に参加して植生・林分・土壌調査の基本を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
11	「木づかい」いろいろ発見に参加して原木きのこの菌打ちを体験しよう	豊田森組	豊田人	豊田
12	森林の草花調べに参加して高原・山地・丘陵の草花を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
13	間伐してベンチの製作まで全工程を自分達で行い、公共施設に寄付しよう	豊田森組	豊田人	豊田
14	様々な山の助成金制度を活用して自分の山づくりに取り組もう	各森組	森林所有者	豊田他
15	様々な木の家づくりの助成金制度を活用して地元の木で家を建てよう	各県	お施主	各県
16	地元の木を使った住宅見学会に参加して地元の木で家を建てよう	各 県 ・ 工務店	お施主候補	各県
17	木造公共施設を訪ねて木の使い方を参考にしよう	豊田・ 根羽・工 務店	市町村	豊田・ 根羽
18	各地で取り組まれている間伐材利用事例を参考に矢作川流域材を活用しよう	各県	市町村	
19	根羽スギの家モデル住宅に体験宿泊して木の家を楽しもう	根羽村	お施主候補	根羽
20	長野県地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	ネバリン	各 NPO	根羽
21	根羽村地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	根羽村	村民	根羽
22	根羽スギ柱材 50 本無償提供事業を使って有利に根羽スギ住宅を建てよう	根羽	お施主	根羽

23	市町村有林を使って新しい森づくりにチャレンジしよう(伐採・造林一貫施業)	ネバリン	森林所有者	根羽
24	市町村有林を使って子供たちに間伐を教えよう	各森組	小中学生	全市町村
25	皆で憩いの森の木道・木橋づくりにチャレンジしよう	ネバリン	市町村	根羽
26	都市の中心部に緑の憩いの公園を計画してつくろう(豊田市・番外飯田市)	豊田飯田	市町村	豊田・飯田
27	長野県 信州型エコ住宅推進事業 50~80万円の助成を利用しよう	長野県	お施主	長野
28	長野県 信州型住宅リフォーム促進事業 20~50万円の助成を利用しよう	長野県	お施主	長野
29	岐阜県 産直住宅建設支援制度 105,000円相当の木材支給を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
30	岐阜県 ぎふの木で家づくり支援事業 20万円の助成を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
31	岐阜県 ぎふの木で内装木質化支援事業 10万円の助成を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
32	岐阜県 ぎふの木で家づくりローン支援制度 優遇金利による支援を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
33	愛知県 あいち認証材利用促進事業 構造材・造作材等 8,000円/m ² の助成	愛知県	お施主候補	岐阜
34	材料施工分離発注方式で適正な木材製品価格で計画的に建築材料を入手しよう	豊田市	各市町村	豊田

木づかいガイドライン 業界編C (案)

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	君も人生の方針として自然科学や農林業を選択しよう	ネバリン	中・高校生	根羽
2	君も、自分が主役になれるクリエイティブ産業・農林業の担い手になって地域を元気にしよう	ネバリン	信大・名大・岐阜女子大他	根羽
3	君も夢と希望あふれる地元の森林組合職員になって、豊かな自然の中で森づくりと木づかいを楽しもう	ネバリン	山の人	根羽
4	森づくりの達人(森の民)になるために様々な技能を身につけよう	各森組	山の人	全流域
5	森林簿と施業図を使って自分の山を覚えよう	豊田森組	森林所有者	豊田
6	自分の山づくりのプランを建ててみよう(オーダーメイドの山づくり)	ネバリン	秀美	根羽
7	様々な木材の搬出方法を見学しよう	各森組	山の人	全流域
8	山の技能作業手順書をマスターしよう	ネバリン	山の人	根羽
9	自分の山の木がいくらになるか森林施業プランを提出してもらおう	根羽・恵南	山の人	根羽・恵那
10	自然を楽しむ様々なグッズを手に入れて自然の中に飛び出そう	洲崎	女子	豊田
11	国産材の家づくりに実績のある工務店・建築士さんに会いにいこう	お施主	お施主候補	全流域
12	机やイス・家具など一生使える木製品の注文をしよう	阿部建設	ファミ	根羽
13	一生使える机やイス・家具など木製品を家族で製作してみよう	阿部建設	ファミ	根羽

14	魅力ある国産材製品のカタログを入手して木のある暮らしをはじめよう	販路開拓	ファミ	長野
15	森づくりと木づかいに取り組む、知って得して面白い魅力的な方のお話を聞きにいこう	事例集	市民	全流域
16	製材工場の端材を使って小屋づくりをしよう	ネバリン	山の人	根羽
17	住宅建築フェアを見に行こう	ネバリン	お施主候補	開催地
18	東京おもちゃ美術館を見学し児童向け木のおもちゃを研究しよう	ネバリン	保育園	東京
19	ナイス企画 需要創造型イベント・体感ツアー・木の感謝祭に参加しよう	ナイス	市民	豊田
20	ナイス企画 ナイスパワーホーム豊田プレミアムのコンセプトを学ぼう	ナイス	市民	豊田
21	木曽川流域材の家づくりのシステムを学ぼう	ナイス	市町村	豊田
22	オークビレッジ木の時間工作にチャレンジしよう	ネバリン	父と子	根羽
23	木の工作に必要な広葉樹を育成しよう	ネバリン	山の人	全流域
24	スギダラどこでもシリーズで世の中をスギダラけにしよう	ネバリン	市民	全流域

木づかいガイドライン 研究編D (案)

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	地元の大学と地域連携協定を締結して、山村・里山の課題解決に向けて学生と一緒にチャレンジしよう	信大	市町村	根羽
2	持続可能な地域づくりに向けて里山の課題を市民から集めよう	信大	市町村	根羽
3	次世代に向けた森づくりと低コスト造林を確立しよう	信大	山の人	根羽
4	スギ人工林の植物種多様性を評価し、生物多様性保全に留意した森づくりに取り組もう	信大	森林所有者	根羽
5	伐採後に発生するスギ針葉から精油を抽出して商品化に取り組もう	信大	女子	根羽
6	農林一体化事業を支援する地理情報の可視化手法を開発しよう	信大	市町村	根羽
7	山村の聞き書き調査を行い、山村文化を発掘し継承しよう	実践者	対象者	根羽
8	雪害被害林の今後の施業指針を確立しよう	信大	市町村	根羽
9	集落周辺の森林について保残木マーク施業等景観林施業を確立しよう	ネバリン	集落	根羽
10	スギ重ね梁の実用化を実現させよう	ネバリン	工務店	根羽

1 木のある暮らし講座の構想について

根羽村は森林資源を活用した林産業を基幹産業としており、根羽スギ住宅の建築部材を県内の工務店に広く供給しているところである。一方で、根羽村には農家民泊による農産物等の収穫体験や、安城市や名古屋市の児童等による山村体験、アイシンググループによる交流イベントとして多くの方が根羽村を訪れている。

そこで、こうした現在の来村者に現在の対応メニューの他に根羽スギ等による「木づかい・木工作」のメニューを加えることによって、根羽村の木をもっとPRし「木のある暮らし」を広めていくことにより、地域材の木づかいと販路拡大を推進する。

また、根羽スギ住宅のお施主様に、住宅建築と同時に家族でテーブルやイスを製作する機会や場所を提供したい。

2 暮らしの中で使える根羽スギオリジナル商品について

- ① 食器・お皿・木のおもちゃ等身近な小物類
- ② 机・テーブル・本棚等の家の中で使う家具類
- ③ ウッドデッキ・スモールハウス・足湯・露天風呂等（耕ライフキット）の屋外で使用する大型のもの

以上の木工品についてデザインを優先して商品化し、ホームページに掲載して受注販売を行う。木工製作指導体制について検討する。

3 無料モニター貸出利用による商品に対する意見の徴集について

上記③については、原則として移動しやすいことに配慮し、無料モニターの貸出を行い利用者の意見を集め改良する。③のフィールドとしてグリーンハウス森沢及び檜原地区を予定している。

4 工作室・木工サロンスギダラ・工作器具について

木工作室の必要性、規模、設置個所、機能、必要木工器具、指導者

5 その他

木工製作指導

集客・プログラム化

材料提供

等の役割分担検討及び補助事業の適用

商品の決定・ホームページへの掲載・コンセプト（案）

根羽スギダラ商品の決定・ホームページ掲載

NO	時 期	実 施 内 容	担当者	
1	9.11	つくるものを決める		
2		試作品を作る		
3		試作品作成者と作成過程を映像化する		
4		試作品を使うモニター（村民か信大生）を決める		
5		試作品を利用している映像を撮り、感想を入れる		
6		単価を決める		
7		ホームページにアップする		
8		当初は受注生産・材料提供方式とし、製作指導体制を検討する		

根羽スギダラ商品製作のコンセプト

NO	内 容	
1	原則的に根羽村のスギ・ヒノキ・その他樹種であること	
2	根羽村村民を始め、矢作川流域等の関係者が参加・団結して、木づかい推進による森づくりや持続可能な地域のシステムをつくること	
3	木づかいによって人と木の時間、人の居られる場所をつくること	
4	製品はホームページにアップし、製作者、製品、製品利用者（村民等）の映像・コメントを入れること	
5	作られた製品を村民が利用していること	
6	小さいものから大きいものまで全ライフステージで利用されること	
7	夏休み課題工作に対応できるものを含めること	
8	根羽村内の農林一体的活用のアイテムとして、遊休農地と周辺森林の活用による外貨獲得に配慮すること（耕ライフキット[仮称]で遊休農地解消）	
9	製品の製作者は当面、森林組合（村民アイデア）、阿部建設（オリジナルデザイン・大工製作）、松島クラフトマン（オーダー製作）を想定していること	
10	製品の材料は基本的に森林組合の製品在庫を想定していること	
11	この取り組みを名古屋市・豊田市・安城市の工務店と連携すること	
12	安城市の環境教育や農山村交流に力を注いでいる小学校児童・ファミリー・アイシングループファミリーを想定顧客とすること	
13	チーム名を「ネバリン特殊木工部隊スギダラ」とすること。特殊の意味は、単なる一事業体による木工品製作でなく、多様な木づかい用途に対応すること、レパトリー・技能のある村民（他地区有志参加有）が参加すること、	

	上流域の森林組合と下流域の工務店が連携すること、木育を重視することにある	
14	森林組合では「ネバリン特殊木工部隊スギダラ」の活動日を土曜日と想定すること。内容は製品製作、木工指導、木育出張（工務店等との連携含む）	
15	<p>この取り組みは持続可能な村づくり・森林組合経営に向けた活動でもあること。大規模な生産による安価な製材品販売を行う木材製品生産大工場に対し、製品単価では勝てない。そこで、私達の特色を活かして下流域の工務店と連携して生き残りを図る。私達の利点は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原材料となる森を育み、それを活用できること ② 活動に関わる人の顔がみえること ③ 全ライフステージの中で木と共に暮らす物語がつくれること ④ 将来的な根羽スギ住宅の顧客及び工務店の獲得に結びつくこと ⑤ 自分達が利用し、その利点を自ら語れること ⑥ 遊休農地・周辺森林の活用等、村に人が来て活動できる場所があり、それを楽しむライフスタイルの提案による外貨獲得が図れること ⑦ 上流域に住む「森の民」から下流域住民に向けた木づかい推進のための発信であること ⑧ 木や森と共にある暮らしや喜びを伝えられること 	
16	根羽スギ住宅を計画されているお施主様に対して、併せて根羽村での遊休農地を活用した耕ライフスタイルを提案できるように導くこと	